

法律学演習Ⅲ

科目ナンバリング SEM-401
選択 2単位

喜多 康夫

1. 授業の概要(ねらい)

本演習の目的は4つあります。第1に、国際法の基礎知識の習得です。第2に、リーガルマインドの涵養です。第3に、社会への関心の育成です。第4に、学生間の親睦です。

第1点目と第2点目の目標については、国際法の教科書について報告してもらい、教員と学生の間の双方向対話(ソクラテス・メソッド)を重視したいと思います。

第3点目については、国際法を学ぶ基礎として日本経済新聞をゼミで読みます。

また本演習では、第4点目の目的である親睦も重視しています。親睦会はゼミ生の主導で行いたいと思います。本年度の3年生は6月上旬に八王子セミナーハウスでサブゼミ合宿を行います。

2. 授業の到達目標

- ①国際法の体系を理解する
- ②基本的な世界の動向を知る。
- ③論理的に自己の主張を展開できる。

3. 成績評価の方法および基準

(報告や質疑応答などの)授業貢献及び試験により評価します。

4. 教科書・参考文献

教科書

杉原高嶺 『基本国際法(第3版)』 有斐閣

杉原高嶺・酒井啓亘(編) 『国際法基本判例50(第2版)』 三省堂

条約集についてはまた後日において知らせしますが、指定する条約集は必須です。

5. 準備学修の内容

教科書をレジュメにまとめてもらい、グループとして報告をしてもらいます。その準備と予習は必要です。

6. その他履修上の注意事項

【関連科目】この法律学演習は国際法のゼミなので、国際法の基礎知識はやはり必要です。そのため、国際法体系の全体構造に関する授業である「国際法(歴史・法源)」、「国際法(主体)」、「国際法(空間)」及び「国際法(秩序維持)」を履修することが望ましいと考えます。また、さらに国際法の専門分野として、「国際組織法A/B」「国際人権法」「国際安全保障法」「国際経済法I/II」「国際裁判所論I/II」「国際刑事法I/II」なども直接的にも、または間接的にもこのゼミに関連します。

【学生へのメッセージ】学部生時代を振り返れば、一番楽しかった授業は演習でした。ゼミ仲間との議論や親睦は今でもいい記憶です。本演習ではしっかりと勉強してもらいますが、勉強を知的な遊びと感じてもらえると嬉しいです。

質問のある学生は、yaskita@main.teikyo-u.ac.jpにまでメールを送ってください。なお、その場合は表題に「・・・の件」とした上で、氏名及び学籍番号と用件の内容をメール本文に記して送ってください。匿名メールはスパムとして取り扱います。

7. 授業内容

- | | |
|--------|-------------------------------------|
| 【第1回】 | ・オリエンテーションと報告決定
・日経新聞輪読 |
| 【第2回】 | ・報告の仕方
「第1章 国際社会と国際法」
・日経新聞輪読 |
| 【第3回】 | ①A班「第2章 国際法規則の存在形態」
・日経新聞輪読 |
| 【第4回】 | ②B班「第3章 条約法」
・日経新聞輪読 |
| 【第5回】 | ③C班「第4章 国際法と国内法」
・日経新聞輪読 |
| 【第6回】 | ④D班「第5章 現代国際法の基本原則」
・日経新聞輪読 |
| 【第7回】 | ⑤E班「第6章 国家」
・日経新聞輪読 |
| 【第8回】 | ⑥F班「第7章 地球空間の地位」
・日経新聞輪読 |
| 【第9回】 | ⑦A班「第8章 個人の地位」
・日経新聞輪読 |
| 【第10回】 | ⑧B班「第9章 国際人権法」
・日経新聞輪読 |
| 【第11回】 | ⑨C班「第10章 外交・領事関係法」
・日経新聞輪読 |
| 【第12回】 | ⑩D班「第11章 国家責任法」
・日経新聞輪読 |
| 【第13回】 | ⑪E班「第12章 国際社会における平和の維持」
・日経新聞輪読 |
| 【第14回】 | ⑫F班「第13章 武力紛争法」
・日経新聞輪読 |
| 【第15回】 | ・授業内試験
・日経新聞輪読 |